

事例紹介 (多くの福祉事業所が農業に取り組んでいます。)



川辺町・B型事業所 つくしんぼ  
廃棄苗の処分作業



大垣市・B型事業所  
(福)大垣市社協・かわなみ作業所  
堆肥の袋詰め作業



関市・A型事業所 株式会社かがやき  
遊休農地を再生させてネギの植え付け作業



海津市・B型事業所 アグリピア農場  
水耕栽培



下呂市・B型事業所 たんぼぼファーム  
アスパラガスの調製・出荷準備作業



高山市・B型事業所 はたらくねっと  
遊休農地を再生させてアカカブ作り

●連絡・相談はこちらまで

**岐阜県社会福祉協議会**

**岐阜県障がい者農業参入チャレンジセンター**

担当コーディネーター：岩井・村木

〒500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1

TEL 058-273-1111 (内線 2661) FAX 058-275-4888

E-mail: nougyoushien@winc.or.jp

# 障がい者農業参入 チャレンジ事業のご紹介

## 農業+福祉 一緒に働きませんか？



株式会社ユニオンの農場で働く、岐阜市 A型事業所ウインのみなさん

## 障がい者農業参入チャレンジ事業 (障がい者福祉と農業の連携) を推進しています。

障がい者の自立支援に向け、福祉事業所における工賃向上や一般就労への機会拡大に向けた取り組みが大きな課題となっていますが、現状は、福祉事業所内での単調・内職的な仕事を中心であり、自立した生活に必要な十分な収入を得ることができていません。

一方、農業分野においては人手不足や、耕作放棄地対策等の課題がありますが、障がい者の受け入れ経験が乏しく、課題改善の選択肢として、「障がい者の農業就労」という視点からの検討がなされてきませんでした。

本来、農業と障がい者就労の相性は良いといわれ、農作業の受け皿として、障がい者が農業に就労する意味は大きいものの、今までは両者を結びつける仕組みが県内にありませんでした。

そこで、岐阜県では「障がい者農業参入チャレンジセンター」(委託先：岐阜県社会福祉協議会)を設置し、障がい者と農業者との橋渡しを行うことで、福祉事業所が農作業の仕事の受注を推進し、農業分野における障がい者の就労機会の拡大や工賃アップを図るとともに、農業者にとっても人手不足の解消等、双方にメリットがある連携を目指すことを目的として「障がい者農業参入チャレンジ事業」を推進しています。

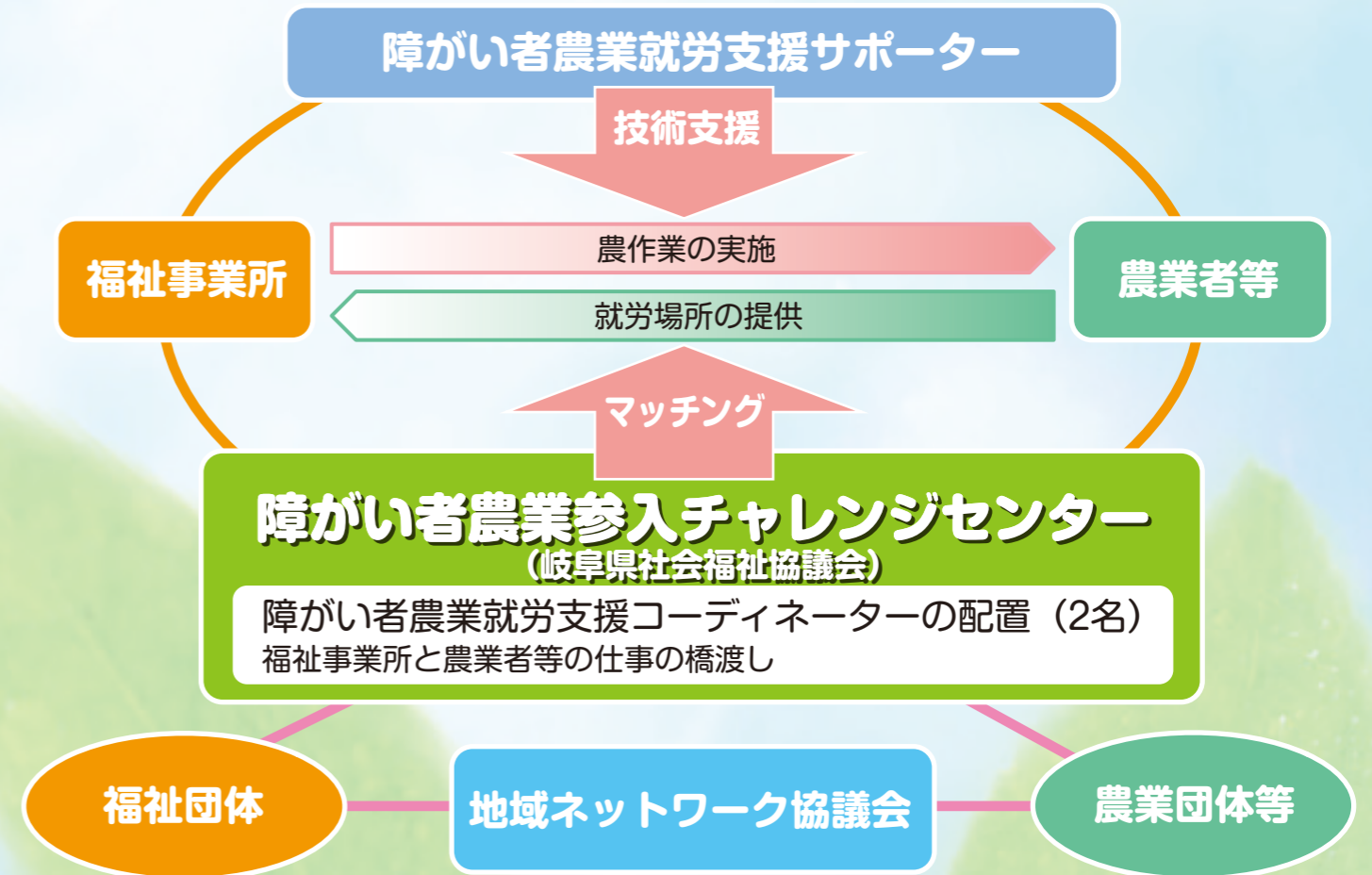
## 人手は足りていますか？

農業と福祉の連携で農家の人手不足を解消します

## こんなことができます!!

- 田畑で農作業のお手伝い
- 収穫物の袋詰め、調製等
- 出荷のお手伝い
- 田畑の管理(草刈り、清掃)
- 収穫物の加工等
- 農作物加工場でのお手伝い
- その他、農業等で出来そうな仕事はなんでも可

## 農福連携事業の事業イメージ



## 便利な制度もあります！

### 1. サポーター派遣制度

専門的な技術をもったサポーターを派遣出来ます。  
その費用は「チャレンジセンター」が支出します(1日5,000円、条件有)  
農家がずっとついて教える必要はありません。

### 2. 施設外就労制度の対象になります

福祉事業所職員と一緒に農作業に取り組みます。  
障がい者は福祉事業所の責任で派遣することとなり、一部を除いて農家の責任はありません。

### 3. コーディネーターによる調整

農家と福祉事業所との契約等のお手伝いをコーディネーターが行います。  
面倒な手続き等のお手伝いを行います。